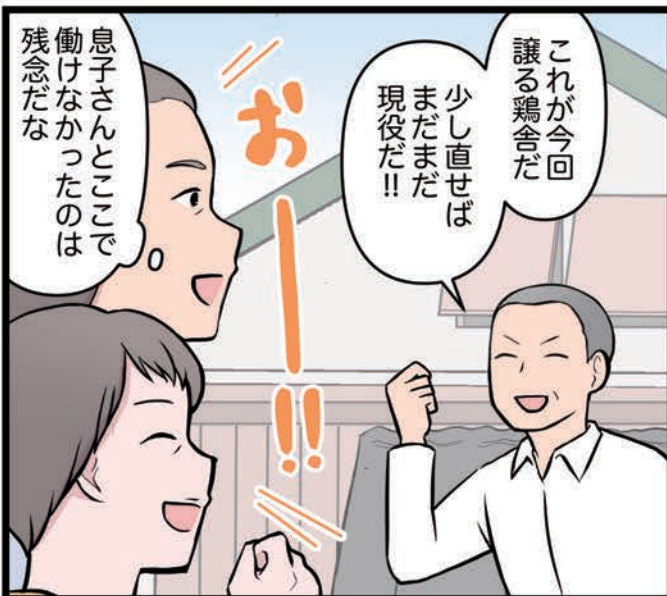
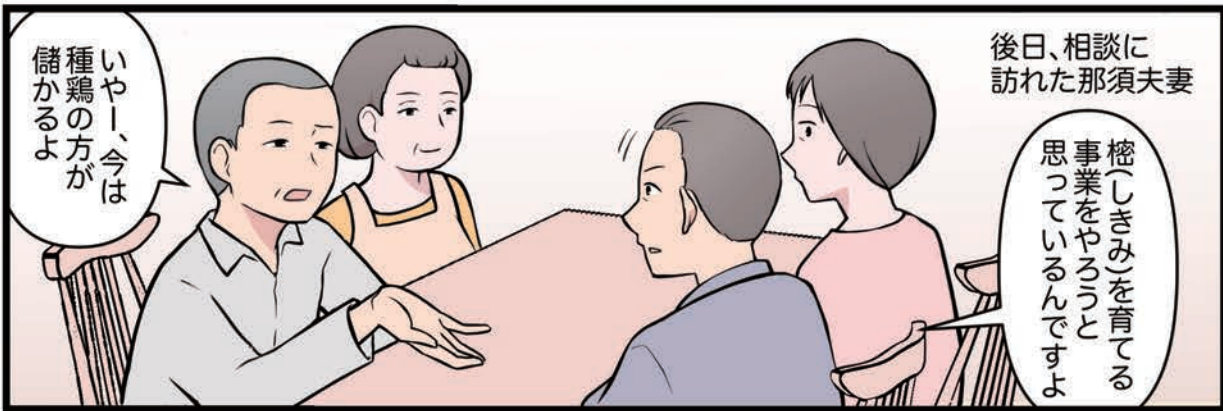
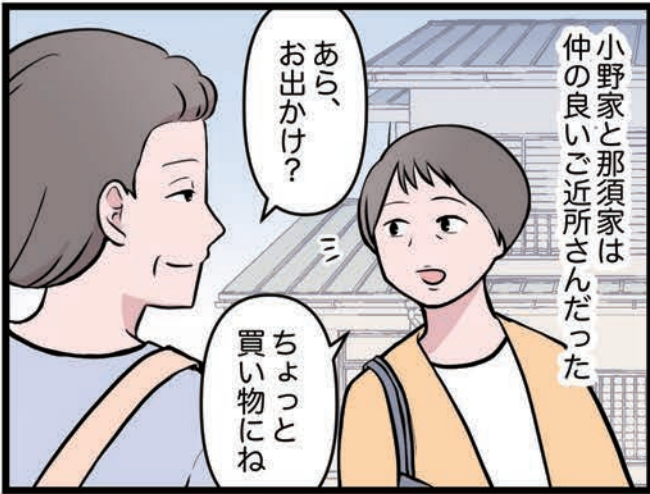
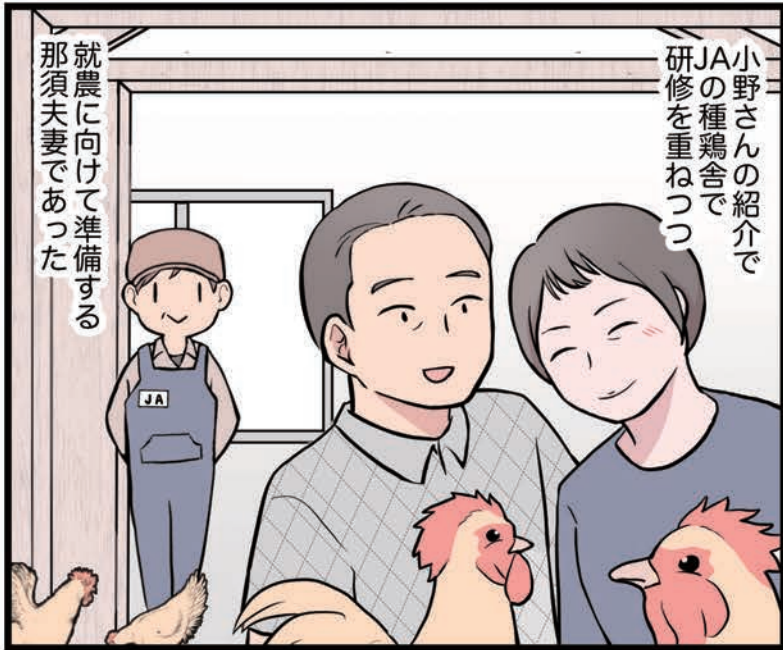


小野さんのケースから学ぶ 経営継承あるある

登場人物

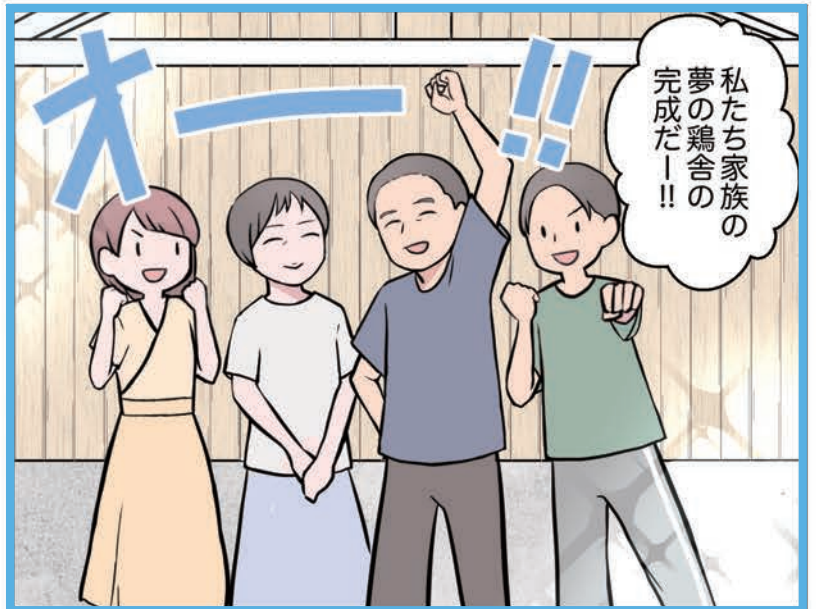




グッドポイント①

第三者への継承であるが、お互いに志々からの知り合いで良好な関係構築ができていたため、先代経営者に勧められた種鶏生産を継承。また、資産の売買についても、スムーズに契約締結。経営継承後も先代経営者からのアドバイスを随時受けることができるなど、協力しながら、経営を維持発展できている。

良好な関係構築



ケアポイント

今回は休鶏舎だったため、補修や新たな設備の導入など想定以上の多額の費用を要した。後継者は、継承する農場で農作業の経験をすることが望ましい。それをベースに、必要な施設や資金繰りなどのイメージができる。

継承する農場で農作業経験する



グッドポイント②

長男が会社を退職して、AIの導入などのスマート農業を担当。長女も参画し、これまで農業経験がない家族全員が、前職の経験を活かし、家族一丸となって省力化や規模拡大を目指している。

家族全員で就農

